



Listed Company 3052

# 協和医科器械株式会社

静岡より全国NO1へ 当社グループの戦略



# 上場日





2006年9月15日ジャスダック証券取引所 上場

#### 上場目的

- ・知名度アップによる競争力強化
- 財務体質及び資金調達力の強化(M&A、 業務提携などの促進)
- ・優秀な人材の確保と従業員の勤務意欲の 向上



# **CONTENTS**



- 1. 会社概要
- 2. 2007年6月期 第1四半期業績
- 3. 今後の展開



# 会社概要

# 1. 会社概要



【会 社 名】 協和医科器械株式会社

【本社所在地】 静岡県静岡市清水区草薙北3番18号

【設 立】 1959年7月

【代 表 者】 代表取締役社長 池谷保彦

【資本金】 792,400千円

【事 業 内 容】 医療機器の販売及びメンテナンス 介護福祉機器の販売及びレンタル事業

【従業員】 533名 <連結> (2006年9月末現在)

【決 算 期】 6月末

【支 店】 横浜・甲府・沼津・焼津・掛川・浜松・豊橋・名古屋

【営業所】 江東・東京・厚木・岡崎・小牧・日進

【ベネッセレ】 静岡・岡崎・飯田

【グループ会社】子会社1社 株式会社オズ(持株比率100%) 関連会社1社 株式会社エヌエイチエス静岡(持株比率34%)

【経 営 理 念】 医療器械の販売を通じ地域医療の向上に貢献し 事業の限りなき発展と共に社員の福祉向上を目的とする

# 2. 沿革



- ■1959年 7月 静岡県清水市(現静岡県静岡市)に協和医科器械株式会社を設立し医療機器販売事業を開始。 静岡県静岡市に静岡営業所(現ベネッセレ静岡)を開設。
- ■1965年 8月 静岡県沼津市に沼津営業所(現沼津支店)を開設。
- ■1968年10月 静岡県浜松市に浜松営業所(現浜松支店)を開設。
- ■1975年 8月 レントゲン及び医用電子部門の販売力を強化するため精工医科電機株式会社を吸収合併し、 ME事業部を創設して修理及びメンテナンス事業を開始(現技術部門)。
- ■1980年 5月 山梨県田富郡に山梨営業所(現甲府支店)を開設。
- ■1980年 8月 レントゲン及び医用電子部門の専門性と販売力を強化するためME事業部を独立させ静岡県 清水市(現静岡県静岡市)に株式会社協和エムイー設立。
- ■1981年 1月 循環器科・眼科の専門性と販売力を強化するため株式会社オズ(現連結子会社・特定子会社、 本社:静岡県静岡市)に資本参加。
- ■1993年10月 神奈川県横浜市に横浜営業所(現横浜支店)を開設。
- ■1995年10月 東京都府中市に西東京営業所を開設。
- ■1995年11月 静岡営業所内において介護福祉事業ショップとしてベネッセレ静岡を開設。
- ■1997年 8月 愛知県名古屋市に名古屋南営業所(現名古屋支店)を開設。
- ■1998年12月 愛知県内の販売力強化のため株式会社ハヤシの株式を100%取得。
- ■2005年 6月 神奈川県厚木市に厚木営業所を開設。
- ■2006年 5月 長野県飯田市にベネッセレ飯田を開設。
- ■2006年 9月 ジャスダック証券取引所に株式を上場

# 3. 事業内容



### 医療機器販売事業

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等(約1,000社)より仕入れた医療機器(備品・消耗品)など約20数万点にも及ぶ商品を国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹事業であります。

### その他の事業

(1)介護福祉機器の販売及びレンタル事業

国内の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を国内の病院等医療施設及び一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

(2)医療機器の修理及びメンテナンス事業

当社が病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

## 4. 医療機器販売事業



#### 先端医療機器

- ■画像診断装置 PET、MRI、CT、エコー
- ■内視鏡 ビデオ内視鏡システム、外科内視鏡シ ステム
- ■各種臨床検査機器 生化学自動分析装置、尿分析装置
- ■眼科 自動視野計、レーシック、フェイコマシーン
- ■カーディオバスキュラー(心臓循環器系)用具 人工心臓弁、ペースメーカー、ステント

#### 医療用具•備品

- ■消耗品類 注射器、点滴用品、X線フィルム
- ■検査機器 血圧計、顕微鏡、心電図検査機
- ■病院内備品 ベッド、車椅子、薬品棚
- ■手術用機器・手術用具 人工関節等
- ■その他レセプトコンピュータ、電子カルテ

検査や治療を迅速・正確にするための先端医療機器販売と

注射器などの消耗品から事務機器まで薬品以外のほとんど全てをカバー







# 5. その他の事業



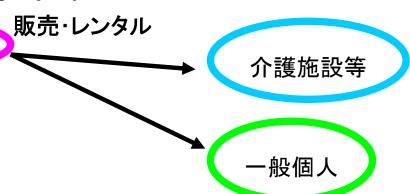
### (1)介護福祉機器の販売及びレンタル事業 他

救急車搭載医療器械



介護福祉機器(備品・消耗品)





レンタル件数:約33,000件

### (2)医療機器の修理及びメンテナンス事業

当社が販売した医療機器の修理及びアフターサービスが基本であり、安定収入となっています。

修理及びアフターサービス対象製品:X線診断装置·心電計等

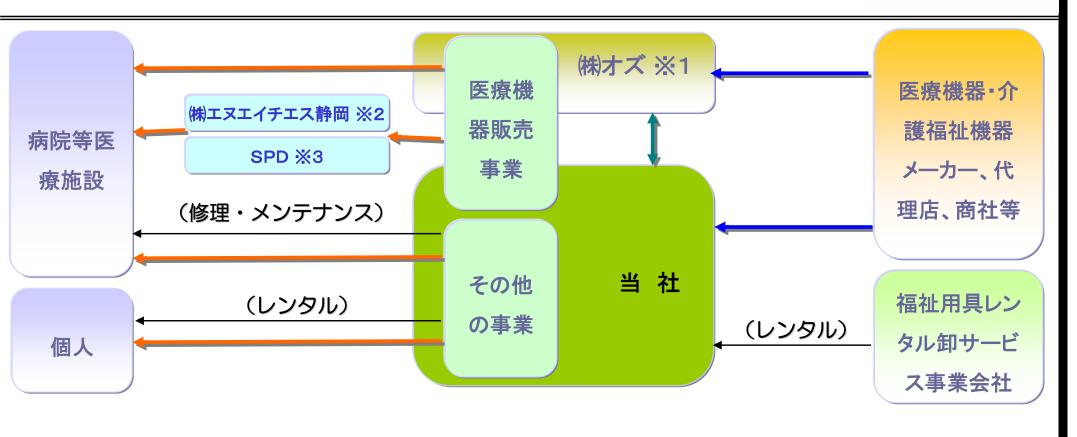
保守契約施設数:約250施設





# 6. 事業系統図





- ← (商品販売) ← (商品仕入) ← (商品仕入・販売)
- ※1 ㈱オズは連結子会社(100%出資)であり、静岡県内において心臓循環器系の販売事業を行っております。
- ※2 ㈱エヌエイチエス静岡は持分法非適用の関連会社
- ※3 Supply Processing & Distributionの略語で、病院が医療材料の物流管理を外注化し、病院所有の在庫の削減、病院側の物品管理作業の軽減を図るシステムのことであります。SPDの運用は、病院との契約により、医療機器販売会社又は専業の会社が行います。当社グループにおいては㈱エヌエイチエス静岡がSPDの運用を行っております。

# 7. 主要仕入先・販売先 (当社単体)



(単位:千円、%)

仕入先名	仕入品目	05/6其	<del>期</del>	06/6期		
正八九七	<b>工入開日</b>	仕入金額	比率	仕入金額	比率	
A社	ステント、針付縫合糸、自動吻合器他	3,323,165	8.9	3,156,990	8.0	
B社	人工肺、血管手術用カテーテル他	1,753,479	4.7	1,488,428	3.8	
C社	不織布、キット他	1,121,699	3.0	1,268,665	3.2	
D社	放射線診断機器他	691,415	1.9	1,237,274	3.2	
E社	開腹開胸手術関連製品他	1,072,046	2.9	1,120,966	2.9	
その他約900社		29,382,725	78.6	30,959,480	78.9	
合 計		37,344,535	100.0	39,231,805	100.0	

仕入・販売先とも分散 しており、一得意先の 影響が受け難くなって います。

販売先名	販売品目	販売品目 05/6期		06/6期		
AX 76 76 A	жалын ш	販売金額	比率	販売金額	比率	
F病院	医療用器械•消耗品	1,659,051	3.9	1,654,811	3.7	
G病院	医療用消耗品	1,546,531	3.6	1,588,578	3.6	
H病院	医療用器械•消耗品	1,108,190	2.6	1,323,865	3.0	
I病院	医療用器械-消耗品	963,029	2.3	1,228,623	2.8	
J病院	医療用器械•消耗品	848,281	2.0	960,143	2.2	
その他約2,100社		36,260,366,	85.6	37,481,311	84.7	
合 計		42,385,469	100.0	44,237,350	100.0	

#### 種類別

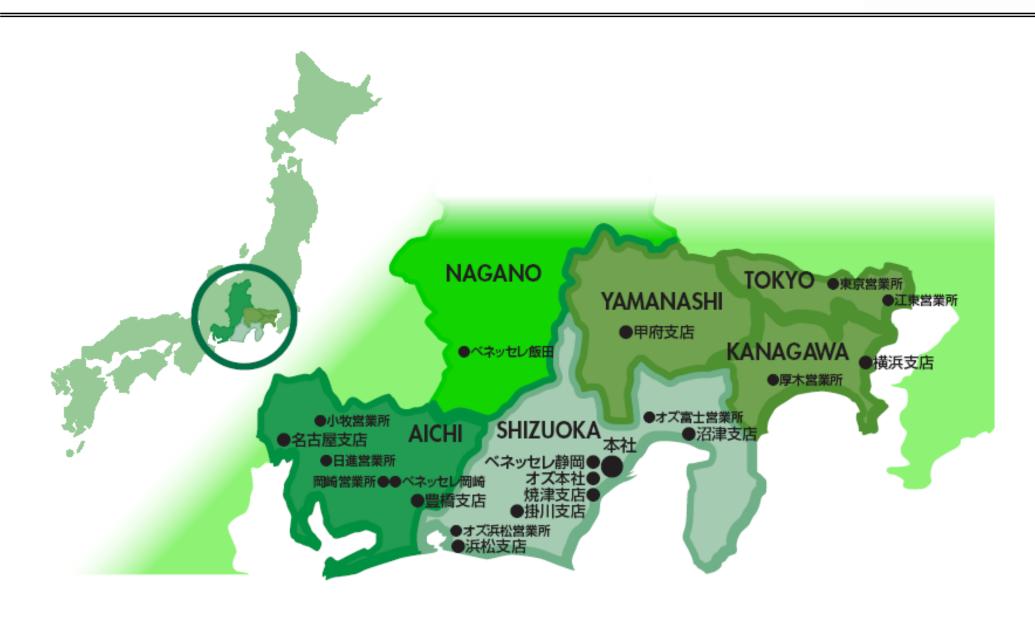
国公立病院·日赤·厚生連 5割 私立病院 5割

#### 規模別

大規模病院(300床以上) 7割 開業医·小規模病院 3割

# 8. 営業エリア





静岡県を中心に1都5県に拠点展開

# 9. 都県別販売実績



			05/6期					06/6	期
			売	£	高	売	£	高	構成比
静	岡	県		26,	673		29,	108	60. 2
愛	知	県		8,	580		8,	723	18. 1
長	野	県			236			210	0. 4
山	梨	県		2,	228		2,	241	4. 6
東	京	都		1,	929		2,	132	4. 4
神	奈 川	県		5,	631		5,	936	12. 3
総		計		45	, 279		48,	353	100. 0

(単位:百万円、%)

07/6期 (第1四半期)					
売 上 高	構成比				
7, 757	61. 4				
2, 385	18. 9				
22	0. 2				
590	4. 7				
493	3. 9				
1, 375	10. 9				
12, 626	100. 0				



# 2007年6月期 第1四半期業績

# 10. 財務分析 (貸借対照表)



(単位:百万円、%)

貸	借	×	<b>া</b>	照	表	05/6期	06/6期	前期比
流	動	資	産	合	計	12, 424	13, 358	107. 5
固	定	資	産	合	計	2, 578	2, 544	98. 7
資	j	産	슴	ì	計	15, 003	15, 903	106. 0
流	動	負	債	合	計	11, 663	12, 716	109. 0
固	定	負	債	合	計	656	197	30.0
負	1	責	슫	ì	計	12, 319	12, 913	104. 8
純	資	凐	Ē	合	計	2, 683	2, 989	111.4
負	責及	び糸	屯資	産台	計	15, 003	15, 903	106. 0

07/6期 第1四半期
14, 081
2, 625
16, 706
12, 646
225
12, 871
3, 834
16, 706

2006年9月の公募増資等により財務体質強化

# 11. 財務分析(損益計算書)



(単位:百万円、%)

損益	06/6期 (実績)	上期	下期	07/6期 (予想)	前期比	07/6期 第1四半期
売上高	48,353	24,814	24,619	49,434	102.2	12,626
営業利益	553	284	354	639	115.5	23
経常利益	650	291	399	690	106.1	32
当期純利益	308	150	222	373	121.1	13
売上高営業利益率	1.1	1.1	1.4	1.3	-	0.2

#### 達成のためのポイント:

- ・ 償還価格引下げによる売上総利益率の低下を最小に抑えるために大量購買による価格交 渉等で仕入価格の削減を図る
  - ・高度先端医療機器等の器械備品の案件を確実に成約に結びつける
  - ・ 首都圏・愛知県の新規顧客に対し営業努力により販売増加を図る

# 12. 財務分析 (セグメント別実績)



(単位:百万円、%)

セ	グ	×	ン	7	05/6期	06/6期
		売	上	高	43, 449	46, 212
┃ ┃医療機	機器販売		先端医	<b>寮機器</b>	15, 185	17, 343
事	業		医療用具	 • 備品	28, 264	28, 869
		営	業利	益	1, 519	1, 391
7.04	4の声楽	売	上	高	1, 829	2, 140
ての批	也の事業	営	業利	益	70	97

07/6期 第1四半期	前期比
12, 158	121. 7
4, 946	149. 5
7, 212	107. 9
276	113. 2
467	116. 4
8	100. 9

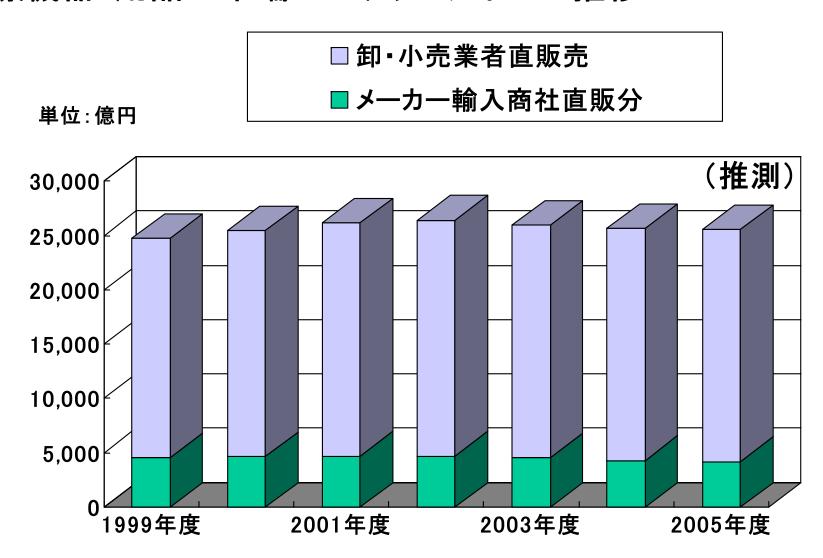


# 今後の展開

# 13. 業界環境①



### 医療機器・用品の末端マーケットサイズの推移



出所)「医療機器・用品年鑑2006年度版市場分析編」㈱アールアンドディ発行より

# 業界環境②



### 業界順位(専業ディーラー別)

(単位:%)

順 位	全国	神奈川県	静岡県	愛知県
1	ムトウ	メディセオメディカル	当社	八神製作所
2	八神製作所	ソルブ	八神製作所	当社
3	宮野医療器	サンメディックス	オズ	三輪器械
4	メディセオメディカル	望星サイエンス	いわしや錦織医科器械	エッチエスメディカル
5	小西医療器	│ │八神製作所 │	東西医用器	名古屋医理科商会
6	当社	当社	コニカミノルタメディカル	コニカミノルタメディカル
7	栗原医療器械店	東和医科器械	メディカルプロジェクト	ワキタ商会
8	竹山	コニカミノルタメディカル	アクセス	リィツメディカル
9	グリーンホスピタルサプライ	ウイン・インターナショナル	西村医療器	加藤器械店
10	カワニシ	サンライフ	ワールドメディカルサプライ	トゥルムホッホメディテック

出所)「医療機器・用品年鑑2006年度版市場分析編」(株)アールアンドディ発行より

# 14. 課題



当社グループの経営成績及び財政状況等に影響を及ぼす可能性のある事項は以下に記載のとおりであります。当社グループはこれらの課題を認識し、事業活動を行っております。

- 1. 特定の営業地域への集中
- 2. 医療費抑制政策の推進 医療構造改革の推進による医療施設の減少
- 3. 医療機関の経営統合や共同購入の進展
- 4. 商品の安全性確保の為のIT設備投資費用の拡大



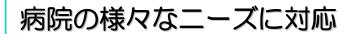
# 当社グループ営業エリア及び近隣地域における競争カアップ



- 多様化する医療機関のニーズへの対応
- 業務効率の改善
- 国内最大市場である首都圏地域での競争力アップ
- M&Aの推進

# 16. 首都圏地域での競争力アップ





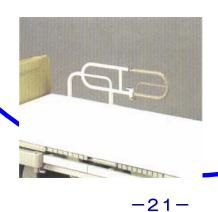










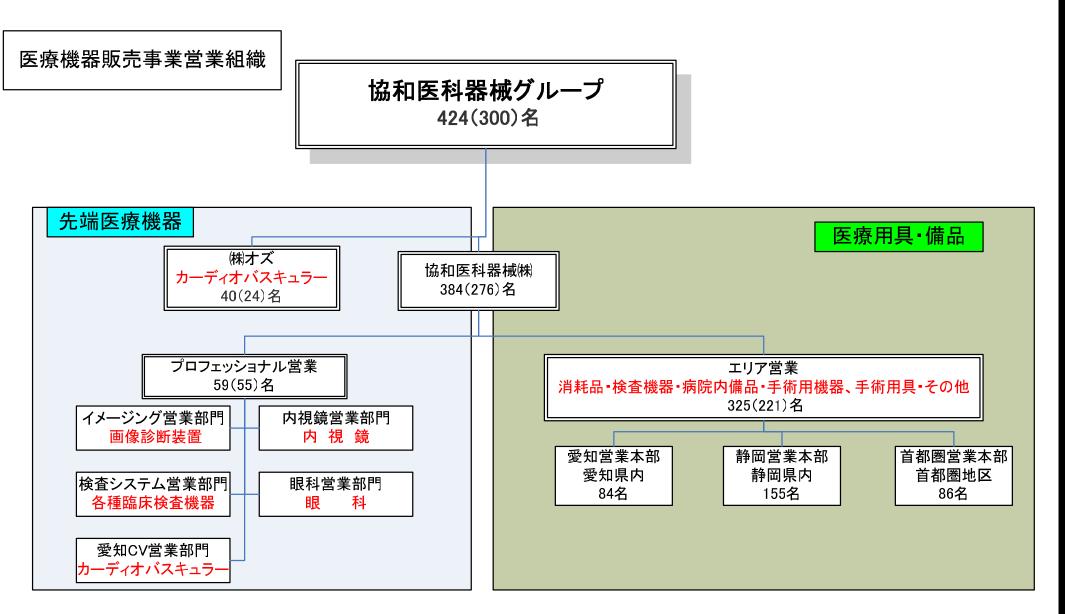






# 17. 医療機器販売事業営業体制

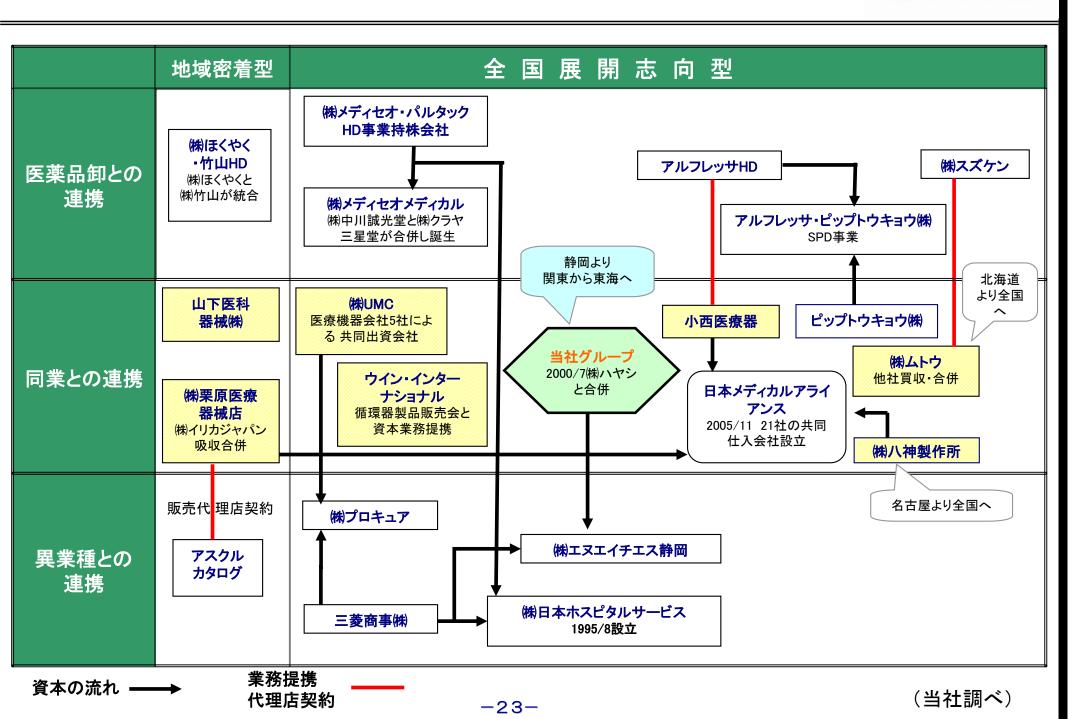




※人数の内()内は営業担当者の数です。

# 18. M&A①(異業種との集約化)





# M&A②(業界内の集約化)



### 最近2年間の医療機器ディーラーの合併等の状況

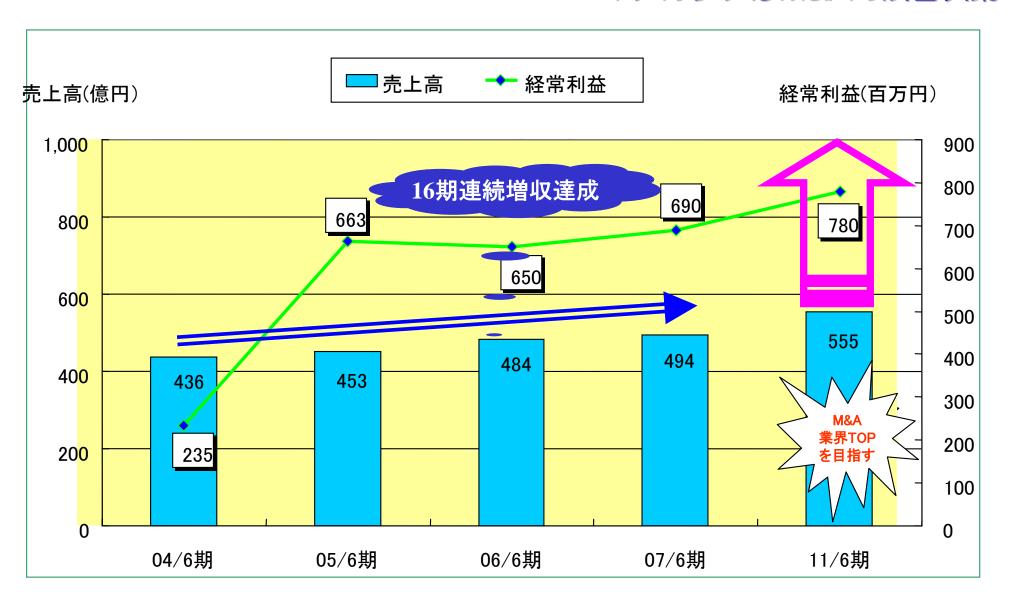
ディーラー名	年 月	内 容
(お海道)	2005年 2006年 3月 2006年 6月 2006年 7月	(㈱イー・エイチ・エス・エスへ資本参加子会社化 木内メディックス(山梨県)に資本参加子会社化 子会社㈱五味医療機器と木内メディックス(共に山梨県)を合 併し㈱ムトウ山梨を設立 本社機能の一部(営業企画・仕入部門)を東京へ移転
㈱栗原医療器械店 (群馬県)	2006年 5月	イリカ福祉メディカル㈱より営業譲渡
(株メディセオ・パルタックホ ールディングス (東京都)	2005年 2005年10月	(株中川誠光堂が㈱ホスプを合併 (株中川誠光堂と㈱クラヤ三星堂が合併し㈱メディセオメディカル設立 (株パルタックと経営統合し、㈱メディセオ・パルタックホール ディングスとなる
㈱八神製作所 (名古屋県)	2007年 1月	名張医科産業㈱と合併
(開山県) (岡山県)	2005年 1月 2005年 6月 2006年 1月 2006年 4月 2006年 7月	営業展開の効率化を図るため、㈱カワニシと(有)井上医科器械を合併 日光医科器械㈱(大阪市阿倍野区)の株式を100%取得 ネオス医科㈱(奈良県橿原市)の株式を100%取得 日光医科器械㈱にネオス医科㈱を合併 高塚薬品(株)(岡山市)の株式を100%取得

(当社調べ)

# 19. 中期業績目標(連結)



#### +アルファはM&Aの成否次第



# 20. 問合せ先



情報開示 担当役員取締役経営管理本部長佐野良 事務担当部署経営企画部門

T E L: 0543-45-8144

F A X: 0543-49-2021

メ ー ル: ir\_k@kyowaika.co.jp

URL: http://www.kyowaika.jp/

### 本資料お取扱い上のご注意



本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を 目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、 完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。